

| 載貨重量 | 現状及び動向 | ダブルハル化による影響 |
|---------|---|--|
| 600DWT | 【現状】199 型 SH タンカーの載貨重量は、大層が600DWT 未満。 | 199 型タンカーがダブルハル化される可能性は低く、影響は少。 |
| 1000DWT | 【現状】499 型 SH タンカーが主力。 【動向】1000DWT 以上の積載能力を有する 499 型 DH ケミカルタンカーが多数建造されている。 【DH 船型】499～550GT 程度。 | 【船員】総トン数が増加しなければ影響は少。 総トン数が増加すると、甲板部の職員資格が一級上がる。 【構造設備】総トン数が増加しなければ影響は少。 総トン数が増加すれば甲板泡消火装置等の安全設備の増備が必要。 |
| 2000DWT | 【現状】749 型 SH タンカーが主力。 【動向】999 型 DH タンカーが建造されている。また、749 型 DH ケミカルタンカーでタンク容積 2200m ³ を確保した船舶ある。 【DH 船型】999GT 程度。 | 【船員】法定船員が 3 名増加。（見張り要員） 【構造設備】特に大きな影響なし。 |
| 3000DWT | 【現状】1599 型 SH タンカーが主力。 【動向】ダブルハル建造等の動きは未確認。 【DH 船型】1650GT 程度。 | 【船員】甲板部船員資格上昇。法定船員影響なし。 【構造設備】特に大きな影響なし。 |
| 5000DWT | 【現状】2999 型 SH タンカーが主力。 【動向】多くの DH タンカーが建造されている。 【DH 船型】3350～3800GT 程度。 | 【船員】主機馬力が上昇した場合には、機関部船員資格上昇。法定船員影響なし。 【構造設備】特に大きな影響なし。 |

